

## 令和7年度経営目標設定シート

団体名： 公益財団法人東京都スポーツ文化事業団

所管局： スポーツ推進本部

### 経営目標設定にあたっての背景・課題

- ・事業団では、平成29年度から令和4年度までの間、経常比率（経常収益÷経常費用）が100%未満となり、継続して正味財産が減少してきた。令和5年度及び6年度は、収入の確保と支出の適正化に努め、経常比率が100%を上回ったが、引き続き、経営の安定化に向けた努力の必要がある。
- ・また、長期的かつ戦略的な取組として、着実な事業の実施に向けた固有職員の採用数増や、固有職員の昇任など、人材育成等を積極的に取り組む必要がある。
- ・さらに、東京都スポーツ推進総合計画（令和7年3月策定）に掲げられた、「身近なスポーツ環境の更なる充実」に向け、スポーツ情報発信Webサイトの満足度を維持継続させていく必要がある。

### 経営目標の設定

目標No.	視 点	指 標	目標値	単位	過年度実績			指標及び目標値の設定理由	目標達成に向けた具体的な取組
					令和6年度	令和5年度	令和4年度		
1	財務	経常比率	100.0	%	101.9	102.9	99.7	・財務状況について、直近2年度の実績は経常比率100%を上回ったものの、過去6年間にわたり100%を下回っていたことから、継続的な安定経営を目指して指標を設定 ・目標値は公益財団法人として収支相償であるべきことから、達成に向けて取組を進め、実現を図る。	・各会計において収入の確保と支出の適正化を図り、事業団の会計全体で収支が均衡するよう努める。
2	人材マネジメント	固有職員の構成比率	29.3	%	28.3	27.0	23.1	・着実な事業実施のため、契約職員の中から固有職員への採用を段階的に行い、即戦力として最大限活用すべく、指標を時限的なデフリンピック本部を除き設定 ・令和7年度目標値は、年度末現員数に占める固有職員現員数（翌年度内定者を含む）の割合へと変更 ・自律的な組織として長期的・戦略的な事業展開を行うため、業務の知識・経験に裏打ちされた固有職員が組織の中核となるよう、構成比率を上げていく必要がある。	・固有職員の採用に向け、組織を支える人材として、より一層主体性を高める素養の醸成や採用選考受験の意欲向上を図る研修を契約職員に実施 ・先輩職員との座談会や成功体験の紹介を行うことにより、受験や業務に対するモチベーションを向上 ・職員個人に対し、所属長を始め組織として受験を勧奨・促進
3	人材マネジメント	固有職員の昇任試験合格者数	4	人	6	4	3	・組織のポテンシャル、執行体制の強化及びエンゲージメントの向上等を図るため、各昇任選考の有資格者の中から計画的に上位職級昇任者を輩出する必要から、令和7年度の有資格者数に受験率・合格率を乗じて指標を設定（主任3人、管理監督職1人） ・今後、担当業務や組織内マネジメントにより一層中核を担う管理監督職への昇任を実施し、個々の職員の能力向上と組織力の向上を図るため、計画的に職員を育成していく必要がある。	・組織の中核を担う人材を育成するため、より一層の組織支援力・実践力向上を図る研修を実施するとともに、昇任試験受験を奨励 ・昇任に向けた知識や学習教材の共有・提供による、受験意欲の喚起・自己研鑽の支援 ・職員個人に対し、所属長を始め組織として受験を勧奨・促進
4	人材マネジメント	コンプライアンス研修受講後の理解度	100	%	100	92	—	・令和5年度に駒沢オリンピック公園総合運動場で発生した事故後に人事異動した職員や新規採用職員が増えていることから、二度と事故を繰り返さぬよう、継続して職員のコンプライアンスに対する意識や理解度を高める。 ・受講後にチェックテストを行い、研修内容の理解度を確認する。 測定方法：研修後のチェックテストの実施 基準：全職員が全問正答	・各施設や事務局において、12月をコンプライアンス月間と設定し、職員への更なる意識啓発を行うため、外部の専門家による研修を実施し、コンプライアンスに対する理解度向上を図る。
5	DX	スポーツ情報発信WEBサイト（SPOPITA）の利用者満足度	3.5	ポイント	3.9	—	—	・一定のアクセス数（月約9.1万件）を得ていることから、更なるサイトの活用に繋げるため、サイトの充実度・利便性を図る指標として満足度を設定 ・令和6年度の目標は達成したものの、利用者満足度の維持向上にむけたコンテンツの拡充や改修等の効果は継続的に測定していく必要がある。引き続き目標は5段階評価で7割の満足度である3.5とする。 ・アンケートの回答数は、350～400件を目安とする。	・自動翻訳（中国語繁体・簡体・韓国語）対応、スポーツ競技紹介、ボランティア団体紹介、アスリートインタビュー記事掲載を令和7年度に追加予定 ・SPOPITAの利用者満足度を調査するため、5段階評価のアンケートを実施するとともに、より多くの回答を集計して検証ができるようSNSによる周知や、イベント等の機会にアンケート調査への協力依頼を行う。

### 経営目標の設定に関する所管局等の所見

- 【総論】
- ・（公財）東京都スポーツ文化事業団の経営課題である財政基盤・組織体制の強化、ガバナンスの確保に向けて、上記5つの経営目標を設定しており、経営状況の改善、人材の確保及びガバナンスの強化につなげる取組を行っていくことから、当該課題を解決し、団体経営を継続的に改善していくものであると判断する。
- 【個別目標】
- ・目標1について、中期的収支均衡の観点から、引き続き上記目標の達成に向けて、事業収益の確保に努め、財政基盤の安定化を図りたい。
  - ・目標2、3について、団体の組織基盤力を強化するためには、固有職員の管理監督職の輩出を見据え、固有職員や主任級職員を安定的に確保する必要がある。固有職員採用選考有資格者数の増加等も踏まえ、中長期的な視点で組織の中核を担う人材を計画的に育成されたい。
  - ・目標4について、令和3年度から令和5年度にかけて駒沢オリンピック公園総合運動場で発生した事故を踏まえ、検証報告書で掲げている再発防止策の一つであるコンプライアンス研修を全職員に実施し、職員のコンプライアンスに対する理解を深めていくべきであり、上記の目標を確実に達成されたい。その他、検証報告書に記載している業務フローの見直しや業務手順の明確化についても確実に実施し、再発防止に努められたい。
  - ・目標5について、中核的事業である「スポーツ東京案内事業（SPOPITA）」は、スポーツ実施率の向上のため、都内の施設やイベント情報など広く都民にスポーツ情報を届けることを目的としており、上記目標の達成に向けて利用者の満足度を向上させる必要がある。DXを活用した利便性向上を図ることで上記目標を達成されたい。